

## ご要望に応えた仕事の成果

県道「芦原 - 丸岡線」(県道9号)の新町～榛の木原(市役所前～嶺北自動車商会)北稲越～古町(金津中学～金津高校)総延長700mの融雪装置の工事が完成しました。冬の自動車走行と通学路の安心安全を実現するために、主に新区の歴代区長からのご要望に応じて、私から県土木部ならびに三国土木事務所に再三要請し、平成25年度に融雪水の泉源を試掘調査、平成26年度に地下水源を掘削、27年度に設計、28年度に4500万円の工事予算を獲得して着工、今年の雪が降るまでの完成を目指しておりましたが、この程完工して試運転も完了しましたことをご報告させていただきます。今後とも地域のご要望に対して、しっかり対応してまいりますので、ご安心下さい。

### 県道「芦原 - 丸岡線」(あわら市役所通り)の融雪工事



▲あわら市役所前



▲B&G体育館前



▲フラワーフルーツいがらし前



▲嶺北自動車商会前



▲金津中学校グラウンド前



▲金津高校テニスコート前

「GO! FORWARD」(11月10日発行)の会派分裂の経緯説明と政務活動費支出方法の改善を呼びかけた広報記事が、最大会派から意見されておりますが、私は県政の主権者である「県民の知る権利」に応じて、議員としての「説明責任」を真摯に果たそうとしたものであり、私自身に一点の後ろめたいことはありません。記載されていることも全て県議会という「公共の事柄」で、事実あるいは真実と信じられるものであり、特に問題が無いと考えていることを議会でも申し上げました。



facebook <http://www.facebook.com/kazuhiko.sasaoka>

twitter [https://twitter.com/#!/k\\_sasaoka](https://twitter.com/#!/k_sasaoka)

笹岡一彦ブログ  検索

# GO! FORWARD

発行日 平成29年1月1日

発行者 笹岡一彦 福井県あわら市春宮一丁目5-14  
TEL&FAX 0776-73-7105  
www.sasaokakazuhiko.net

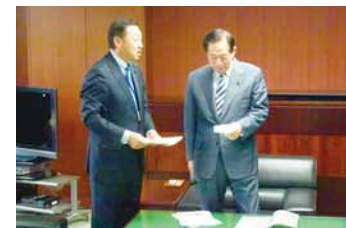
笹岡一彦ブログ  検索



笹岡一彦 県議会報告



12月20日、北陸新幹線の敦賀以西ルートが「小浜 - 京都」に正式決定される。オール福井県で取り組んできた運動の成果を県民とともに祝う新年。



▲議長時代に、再三にわたって太田国交大臣に陳情する



▲京都府議会に「小浜 - 京都」の優位性を説明する



▲西田ルート検討委員会委員長に「小浜 - 京都ルート」採用を陳情



▲国交省の奥田鉄道局長に陳情

北陸新幹線の敦賀以西ルートが、12月20日の与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの会議で、本県が要望してきた「小浜 - 京都ルート」に正式に決定されました。これまでの、あわら市ならびにあわら市民の皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

この敦賀以西ルート問題は、先ずは本県までの新幹線延伸が優先されていたことから長年議論が封印されていましたが、「福井駅部の800m」の部分認可や「金沢 - 敦賀」の認可などが降りて行く中、次第に本格的な議論が活発化してまいりました。そして、平成23年に橋本徹大阪府知事らが行政コストカットなどを掲げて、「大阪にあまり意味の無い北陸新幹線はいらない。米原ルートでいい」として、関西広域連合でもルート問題が取り上げられるようになり、その結論として平成25年4月、関西広域連合が国に対して「米原ルート」を推薦してしまいました。また、昨年10月に石川県議会も結節まで時間がかり過ぎると加賀温泉などが疲弊しかねない等の理由から「米原ルート」を決断してしまいました。

こうした厳しい状況の中、私も議長として本県が希望するルートの巻き返しを図るために、太田国交大臣や与党PTメンバー、国交省鉄道局に年間15回以上直接陳情したり、京都府議会などにも再三にわたって働きかけて「小浜 - 京都ルート」の理解を得る努力をしてまいりました。

そして、幹事長としても石川県議会の方針を転換させるべく自公議員への説得を重ねるとともに、富山県議会の野野議員や中川幹事長と連携して北陸3県の足並みが「小浜 - 京都ルート」に揃うように幾度も説得を重ねてまいりました。

本年1月にJR西日本から正式に「小浜 - 京都ルート案」が発表され、所要時間、運賃、利用者の利便性、経済効果、国土防災面などで総合的に優位性のあるルートとして、最終的には北陸3県と北経連、関西経済界、そしてJR西日本とJR東海などの強い支持により、与党プロジェクトチームにおいて、「小浜 - 京都ルート案」に議論が集約されたものと見ております。

いずれにしても、あわら市にとっても福井県にとっても交流人口の最も多い京都・大阪と直接に結節できる「小浜 - 京都ルート」が正式に決まったことは、将来の市や県の発展に大きく寄与するものと市民県民とともに大いに喜びを分かち合うとともに、今後は1日も早く大阪まで開業されるように、財源などの課題を乗り越えて行くのが自分たちの責務だと考えているところです。

北陸新幹線敦賀一新大阪のルート案



▲「小浜・京都」ルート正式決定を報じる記事

